

平成24年10月

各 位

佐久市医療体制等連絡懇話会
佐 久 市

「佐久市内医療提供体制」に関するアンケート調査ご協力のお願い

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、全国的な医師不足などの影響で、地域医療を取り巻く情勢が厳しさを増す中、佐久市では、住民の皆様に安定的に医療が提供できるよう、佐久医師会をはじめ、佐久総合病院、浅間総合病院、佐久市等、関係機関で構成される「佐久市医療体制等連絡懇話会」を設置し、「医療機関の役割分担と連携」による医療体制の構築を進めています。

また、佐久総合病院では、地域に対して良質な医療を安定的に提供できるよう、病院機能を分割する「再構築」を進めています。この再構築では、平成25年度内を目指し、救急・急性期医療、高度専門医療に特化した「紹介型の病院」である「佐久医療センター」を中込中央区に開院する計画であり、これにより市内の医療体制も大きく変わろうとしています。

この様に、市内の医療機関が役割分担を明確にして医療提供を行い、佐久医療センターが紹介型病院としてその機能を果たすことで、佐久地域の医療の充実が期待されています。

また、こうした医療体制を実現するためには、市民の皆さんにも、かかりつけ医を持つなど、症状に応じて上手に医療機関を使い分けていただくことが大切となります。

そこで、佐久市医療体制等連絡懇話会では、今後の医療体制の構築に向けた取り組みを検討するにあたり、佐久総合病院再構築を含め、地域医療の現状と今後について、住民の皆様がどのように捉えているのかを確認するため、アンケート調査を実施することといたしました。

以上の趣旨をご理解頂いた上で、別紙アンケートへのご協力を願いします。

「佐久市内医療提供体制」に関するアンケート調査

アンケート調査実施者

佐久市医療体制等連絡懇話会

佐 久 市

【お問い合わせ先】

「佐久市医療体制等連絡懇話会」 事務局
佐久市役所 市民健康部 健康づくり推進課
担当：佐々木、玉置

Tel : 0267-62-3524 (直通)

Fax : 0267-64-1157

Mail : hoken@city.saku.nagano.jp

「佐久市内医療提供体制」に関するアンケート調査

佐久市医療体制等連絡懇話会
佐久市（市民健康部 健康づくり推進課）

● ご回答者の状況

設問1. あなたの性別をお答えください。

- ① 男 ② 女

設問2. あなたの年齢をお答えください。

- ① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代 ⑧ 80歳以上

設問3. あなたの居住地をお答えください。

【佐久市内】

- ① 浅間地区 ② 野沢地区 ③ 中込地区 ④ 東地区
⑤ 曰田地区 ⑥ 浅科地区 ⑦ 望月地区

【佐久市外】

- ⑧ 小諸市 ⑨ 北佐久郡 ⑩ 南佐久郡 ⑪ その他

● 医療情勢について

今、地方において医師（特に病院勤務医）不足が深刻化し、小児科や産婦人科など特定の診療科で医療提供が止まってしまう「医療崩壊現象」が起きています。

設問4. 医師不足等、医療を取り巻く情勢が、とりわけ地方において厳しい状況となっていることをご存知でしたか。

- ① よく知っている。
② だいたい知っている。
③ あまり知らなかった。
④ 全く知らなかった。

設問5. 佐久地域の医療情勢の状況を、どのように感じていますか。

- ① 安定している状況だと感じている。
② やや安定している状況だと感じている。
③ やや厳しい状況だと感じている。
④ 厳しい状況だと感じている。

設問6へ続く

設問6. 設問5で「④ 厳しい状況だと感じている。」「③ やや厳しい状況だと感じている。」と回答された方に伺います。どのような時に、医療情勢が厳しくなっていると感じますか。

具体的に：

● かかりつけ医を持つことの重要性について

医師不足の中で地域の医療を守るために、医療機関が連携を密にしながらそれぞれの役割に応じた医療を提供し、患者さんは、かかりつけ医*を持つなど、症状に応じて上手に医療機関を使い分けることが大切になります。

*「かかりつけ医」

患者さんの日常の健康管理や病気のことなど、気軽に相談できる身近なお医者さんのことです。かかりつけ医を持つと、普段の健康状態や過去の病歴などを把握しているので、適切な治療が受けられ、急に具合が悪くなっても安心して診てもらうことができます。また、入院や高度な検査が必要な場合は、専門の病院等を紹介してもらうことができます。

設問7. あなたは現在、「かかりつけ医」をお持ちですか。

- ① 病気になるといつも相談するかかりつけの医師がいる。
- ② この病気ならこの先生という意味なら、かかりつけの医師がいる。
- ③ かかりつけの医療機関はあるが診てもらう医師は決まっていない。
- ④ かかりつけの医師、医療機関はない。
- ⑤ 病気になったら、大きな病院で診てもらう。

設問8. 設問7で「④ かかりつけの医師、医療機関はない。」「⑤ 病気になったら大きな病院で診てもらう。」と回答された方に伺います。かかりつけの医療機関がない理由について教えてください。（複数回答可）

- ① あまり病気をしないから。
- ② 病状によって各々医療機関を選んだ方が良いと思うから。
- ③ かかりつけとして、適当な医療機関がみつからない。
- ④ 大きな病院で診てもらうと安心だから。
- ⑤ その他（具体的に：）
- ⑥ 特に理由はない。

設問9へ続く

● 佐久総合病院再構築について

佐久総合病院の再構築では、救急・急性期医療、高度専門医療を担う「紹介型病院」*である「佐久医療センター」を平成25年度内に中込中央区に開院し、引き続き、地域に密着した一般医療を担う臼田の「佐久総合病院（本院）」を、平成28年度までに、整備する計画です。

※「紹介型病院」

一般的には難しい「診断」や「治療」を行い、地域の医療機関から紹介された患者さんに専門医が協力をして治療にあたる病院で、基本的に、救急以外は、紹介状をお持ちの患者さん等を中心に診療を行う病院です。

設問9. 佐久総合病院が再構築を進めていることをご存知ですか。

- ① よく知っている。
- ② だいたい知っている。
- ③ あまり知らない。
- ④ 全く知らない。

設問10. 平成25年度内に、「佐久医療センター」が開院する予定であることをご存知ですか。

- ① よく知っている。
- ② だいたい知っている。
- ③ あまり知らない。
- ④ 全く知らない。

設問11. 佐久医療センターが「紹介型の病院」であることをご存知ですか。

- ① よく知っている。
- ② だいたい知っている。
- ③ あまり知らない。
- ④ 全く知らない。

設問12. 一般的に「かかりつけ医等の紹介状をお持ちでない患者さん」が「紹介型病院」（佐久医療センター）を受診された場合には、「病状を見極めた上で、他の医療機関を紹介される。」ことになりますが、このことをご存知ですか。

- ① よく知っている。
- ② だいたい知っている。
- ③ あまり知らない。
- ④ 全く知らない。

設問13へ続く

設問 13. 佐久医療センターで紹介状を持たずに診療を受けた場合には、救急時を除き、別途料金（初診時保険外併用療養費*）が加算されることとなります。このことをご存知ですか。

- ① よく知っている。
- ② だいたい知っている。
- ③ あまり知らない。
- ④ 全く知らない。

* 「初診時保険外併用療養費」とは

大病院への患者の集中を防ぎ、医療機関の適切な機能分担を推進することを目的に設けられた制度で、200床以上の病院で徴収することができます。

● 情報提供について

設問 14. 佐久地域の医療状況等について、もっと情報が必要だと思いますか。

- ① 必要だと思う。
- ② やや必要だと思う。
- ③ 必要とは思わない。

設問 15. 設問 14 で「① 必要だと思う。」または「② やや必要だと思う。」と答えた方に伺います。主に、どのような情報があればよいですか。（複数回答可）

- ① 子供や高齢者の医療に関すること。
- ② 休日や夜間の救急医療に関すること。
- ③ 佐久総合病院再構築に関すること。
- ④ 医療連携やかかりつけ医に関すること。
- ⑤ 医師会に関すること。
- ⑥ 市立浅間総合病院に関すること。
- ⑦ その他

具体的に：

設問 16 へ続く

設問 16. 情報提供の方法として効果的であると思われるものを選択してください。
(複数回答可)

- ① 市の広報誌等
- ② 佐久総合病院の広報誌等
- ③ 医師会の広報誌等
- ④ 説明会の開催等
- ⑤ その他

具体的に：

● その他意見等

設問 17. これから佐久地域の医療に期待すること、あるいは、不安や疑問に思うこと等
がありましたら、ご意見をお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。